

「埋植検体の取扱についての案内」

お客様各位

埋植検体の取扱について重要な案内をさせていただきます。複数の検体の種類がありますので以下をお読みいただき、依頼にあたり注意のほどお願い申し上げます。

埋植検体には、穿刺液状物理植検体と固形物理植検体があります。それぞれの特性を理解いただき依頼をご検討ください。

詳細は、以下リンク先【▶】をクリックください。

▶ 【穿刺液状埋植（移植）検体の扱い（受託サービス）中止について】

材料：固形が確認できない細胞、コラーゲン、ヒアルロン酸、脂肪、シリコン等
性状：通常、個別単体が目視確認できない水溶性または液状物

▶ 【固形物理植（移植）検体の扱い注意について】

材料：人工材料（ステント、インプラント）、組織、固形化した培養細胞、
アパタイト
性状：通常、個体単体が目視確認または触診で確認できる固形材料

2018年9月

株式会社 新組織科学研究所

【穿刺液状埋植（移植）検体の扱いについて】

- ・ 受託中止および今後の受託対応予定
 - 過去は標本作製を受託しておりましたが、埋植物の特性から埋植物の臓器または組織内目的位置が確認できずご希望の標本の納品ができないことが散見され、受託を中止させていただきます。
 - 今後の再開については、依頼者からの正確な情報提供および免責事項の了解を前提とし、当社で受託可能と判断される技術開発ができた時点とします。
- ・ 埋植物の種類：
 - 材料：固形が確認できない細胞、コラーゲン、ヒアルロン酸、脂肪、シリコン等
 - 性状：通常、個別単体が目視確認できない水溶性または液状物
- ・ 中止の要因・原因
 - 依頼内容での納品および再現できない原因は以下のようなものと推測されています。
 - ◇ 標本作製過程での固定、切り出し、パラフィン浸透作業工程での組織の変形・欠損あるいは埋植物の移動、縮小。
 - MRI 撮影で事前に確認できても目的場所を作業経過で失う可能性もある。
 - ◇ 埋植中に移植先の生体内で吸収（同一化、類似化）され形態学的な識別が困難となる。
 - ◇ 依頼者は「あるべきはず」「文献通り実施した」という想定ではありますが、実際には正確な埋植場所、埋植量等を確認し、委託に際して正確な情報提供ができていない依頼が多いこと。

誠に申し訳ありませんが、現状では皆様からのご期待に沿える標本をご提供できないと判断し、動物種、作製方法に関わらず標本作製受託サービスの中止を決定させていただきましたこと報告申し上げます。

以上

2018年9月
株式会社 新組織科学研究所

【固形物埋植（移植）検体の扱い注意について】

下記の確認事項にご了承頂いた場合のみ受託可能とさせていただきます。

下記条件で依頼頂いた場合でも、検体の情報内容により受託不可と当社が判断した場合依頼をお断りさせていただきますので予めご了承下さい。

材料の情報提供方法が不明な場合は事前に問い合わせください。今後、当社のホームページの「作製方法のご指示方法」を掲載させていただく計画です。

作業は、目的位置の情報を提供いただいても、マイクロ単位でピンポイントでの標本作製は困難ですので、連続切片または亜連続切片での受託となります。

見積提示、当社での受託に際して、当社から「作業確認書（免責事項を含めた）」内容を承認いただきます。

① 肉眼的に埋植箇所が確認できる検体

- ・ 材料：人工材料（ステント、インプラント）、組織、固形化した培養細胞、アパタイト
- ・ 性状：通常、目的となる個体単体が目視確認または触診で確認可能な固形材料

② 事前に、材料に対して以下の情報を含めて、問合せください。

- ・ 埋植物の種類、観察目的（開示いただける範囲）
 - 提供いただく埋植物材料情報（※1）：
 1. 材質・物質
 2. 研究目的（開示いただける範囲で結構です）
 3. 標本作製位置：大きさおよび標本作製位置等の書面記載またはデジタル情報。なお、標本作製位置は必ず“「マーキング」”および“「図示」または「写真＋ライン等での明示」”を提示してください（※2）。
- ・ 受託可能と判断され、当社からの見積内容で依頼をされる際には、依頼いただく全材料について個別材料情報（※1）を提供準備してください。
- ・ 材料情報（※1）の詳細について不明な点は問い合わせください。ただし、依頼者より責任をもって「書面での指示」ができない場合、目視、触診で確認のできない材料はお断りすることもあります。
 - 当社技術スタッフとの電話、電子会議等、面談での指示を希望される場合は、打ち合わせ時間相当の費用を請求させていただくことがあります。

③ 埋植箇所が形状確認できない検体

固形物であっても、動物実験中に経時的に組織内に吸収され、不明瞭となる検体が発生する事があります。さらに、輸送時の材料の変形・収縮、マーキング剤の脱落等は作業を中止します。

原則、該当検体につきましては、前述の材料情報（※1）に沿って標本作業を実施します。

④ 提案事項

- ・ 埋植物の標本作製部位の判断補助として MRI、CT のご利用を推奨します。
- ・ 別途当社の「病理材料イメージングサービス (MRI、CT)」をご利用いただくか、材料情報（※1）にお手持ちの DICOM 画像を提示ください。

- ⑤ 当社未経験の「固形埋植物質」については、少数例での事前有償トライアル等も実施可能です。事前に用意提供いただく材料情報（※1）は、前項を参照ください。

《免責事項》

埋植検体は、作製困難に陥りやすい検体である事は変わりません。

当社は研究の主体になることはなく、正確な依頼情報を元にサービスを実施します。

当社の経験、技術で鋭意作業は行いますが、依頼・希望する標本像が得られない場合でも弊社は一切責任を負いませんのでご留意頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

2018年9月

株式会社 新組織科学研究所